

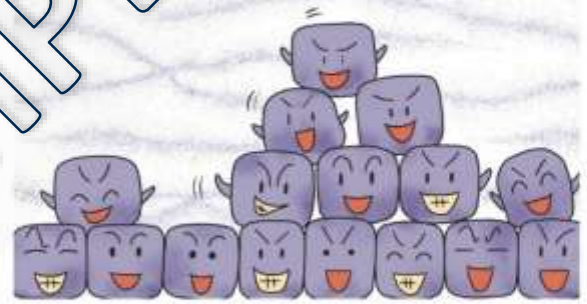


1分でわかる歯科治療の話

これだけは知っておきたい

# インフルエンザと 口腔ケアの意外な関係

歯科医院での口腔ケアが  
気道感染症を防ぎます





皆様、こんにちは  
この小冊子では、  
日本人の8割が  
罹っていると言われる  
歯周病と  
インフルエンザの関係を  
ご説明いたします



今回もお口の中を  
綺麗にして  
いきますね

当院では以前から  
お口は全身の健康の  
入り口であると捉え、  
継続的な  
メインテナンス来院を  
お勧めしております

口腔ケアを  
受けていない



歯科衛生士による  
口腔ケアを受けた



両者のインフルエンザ発症率は  
実に**10 : 1**だったとの  
驚くべき結果\* が出たのです

実は以前、インフルエンザと  
口腔ケアとの関係を  
調べる実験がされました



\*東京歯科大学名誉教授の奥田克爾氏らの東京都府中市の特別養護老人ホームでの研究結果によるもの

### ウイルス

↓

0.1      1      10      30(マイクロメートル)

細菌      細胞      スギ花粉

大きさの比較

インフルエンザはウイルスの一種です

ウイルス

人の細胞の中に侵入して数を増やすのです

自分の力で増殖できる細菌と違い、ウイルスは自分の力では増えることができません

だめだ！  
入れないぞ

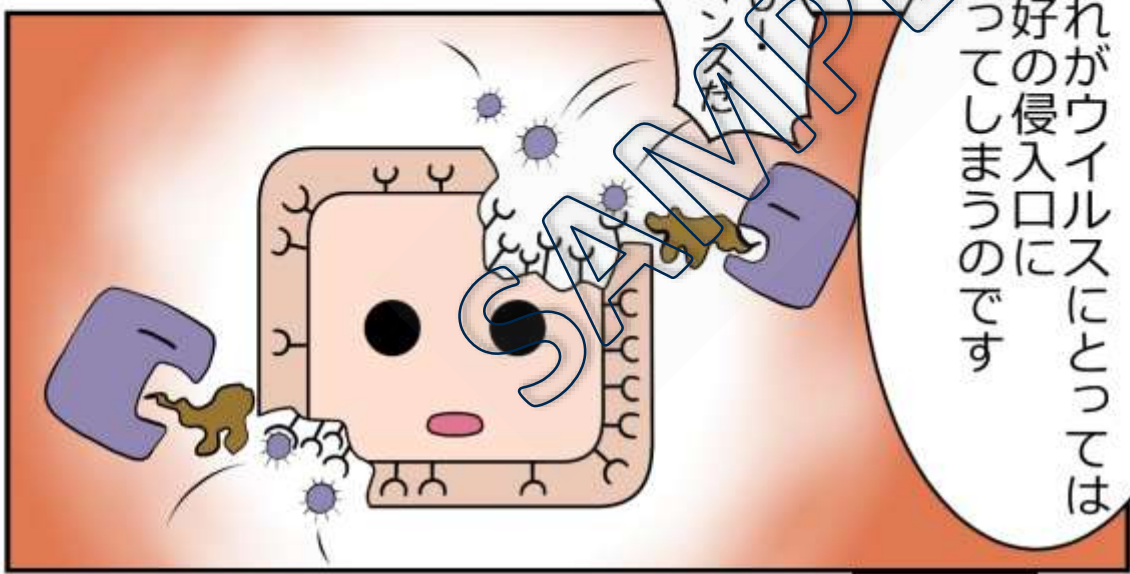
しかし本来、健康な人の細胞は粘膜でガードされているためウイルスが体内に入るだけでは感染できないのです

細胞

炎症



一方、自分達の力で増殖できる歯周病菌のような細菌を放置すると人の細胞を守る粘膜を破壊するほどの**毒性**を持つようになります



これがウイルスにとっては絶好の侵入口になつてしまうのです

よし！  
チャンスだ



本来、この受容体も粘膜で守られていたはずですが、



この結合状態がウイルス感染です

細胞には体外物質を受け取る受容体があります

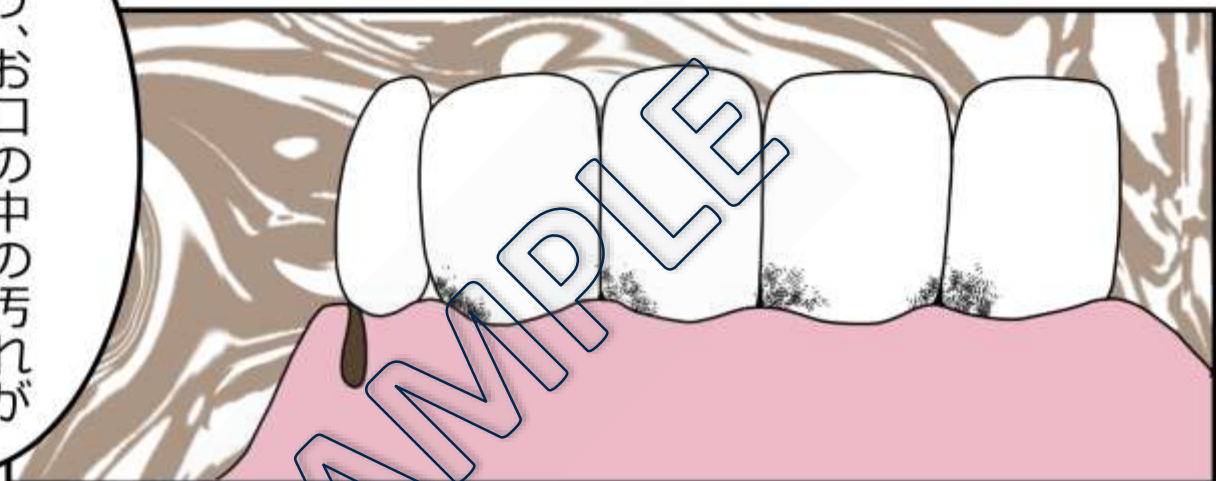


ドッキングしやすくなった受容体

歯周病菌などに壊された粘膜



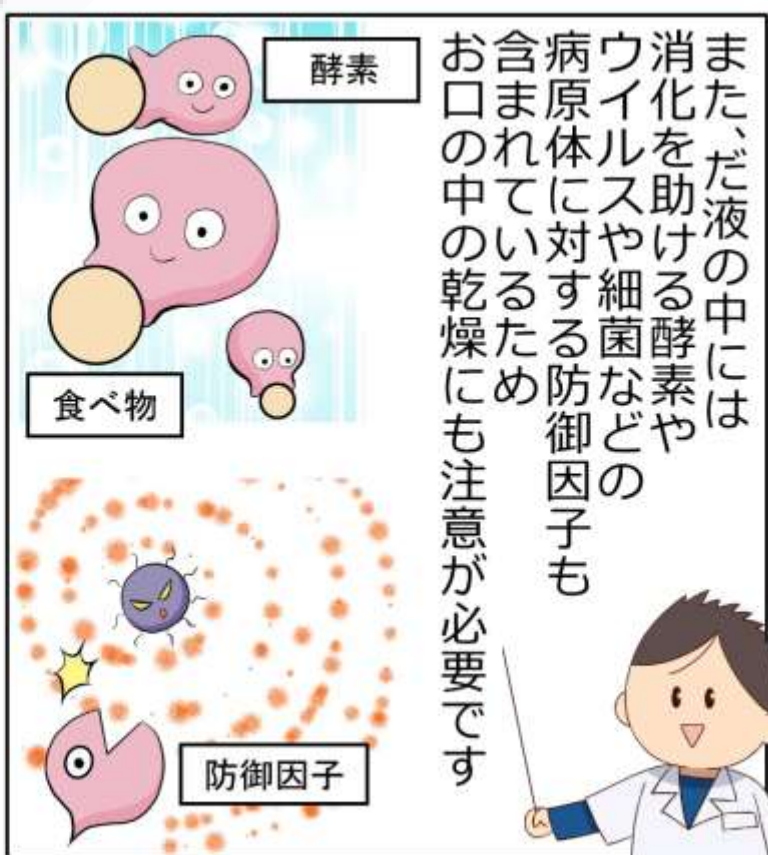
つまり、お口の中の汚れがウイルスを細胞内に侵入しやすくさせているのです



お口の中が清潔・健康に保たれていればこの機能も正常に働くのです



だ液中にある免疫物質は洗い流されます



また、だ液の中には消化を助ける酵素やウイルスや細菌などの病原体に対する防御因子も含まれているためお口の中の乾燥にも注意が必要です



免疫細胞

誤って肺に入った  
歯周病菌

歯周病菌

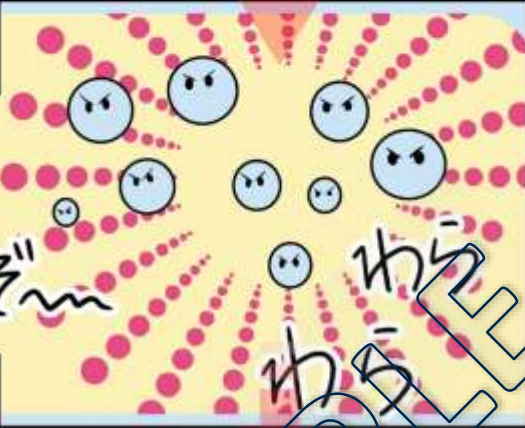
もうひとつ  
知っておきたいのが  
ご高齢者に多い  
ごえんせい  
誤嚥性肺炎です



身体の免疫細胞に  
菌と戦う指示が出る



あーい  
菌だぞ



菌と免疫が戦うことで  
炎症が起きる

細菌性肺炎が起きる



ここでさらに  
ウイルスが感染



ウイルス性肺炎＋細菌性肺炎＝重症化

このような状況を  
未然に防ぐためにも  
口腔ケアは必要不可欠  
なのです

免疫の暴走  
(サイトカインストーム)





当院では、  
患者様の歯とお口  
そして全身の健康を  
お守りするため、  
日々、治療技術の向上に  
努めております



引き続き、  
万全の院内感染対策も  
講じてまいります

皆様のご来院を  
心よりお待ちしております  
おります



是非これからも  
歯科医院とご家庭での  
口腔ケアを  
続けましょう

歯とお口の事なら何でもご相談ください



デントスマイルシステムズ歯科

☎0561-42-5580



〒489-0975

愛知県瀬戸市山の田町62-8

<https://www.nyantal-dental.online/>

初診Web予約もこちらのQRコードからどうぞ